ただいま農業研修中

~黒潮町担い手支援事業~



なった都築さん。

左から、研修2年目の阿部さん、 松並さん、今年8月から研修生に

植え付けた数日後、ツルを巻き付けていく主枝誘引 作業を行っているところ。植え付けまでの畝づくり、 土づくりの準備や、収穫が終わった後のツルの始末 や片付けが大変な作業と研修生の声。

ターン就農が1年間となっている。

新規就農が1年以上2年以内

研修期間は、新規就農 目指す「専業農家支援制 目指す「専業農家支援制 をがある。

「専業農家支援制度」と、に対して、支援を行う制度

ゎ「後継者育成発展支援」援制度」と、親元へのUタ援を行う制度。新規就農を

で

就農を

『より出向の宮川さんが研修生の指』黒潮町農業公社の篠田さん、高知!

土佐くろしお鉄道浮鞭駅から山側のビニールハウス群を望む。中央部には研修用ハウス。(〇印部)

新たな一歩を!

~先輩・仲間に囲まれ、 独立へ~

研修を終えて…

工の音楽が流れている。取材した日には、伯父さん、いウスの中に入ると、軽快なヒップホップやレゲいる中野翔さん(26歳)。その後約1年の準備期間を経て、自分のハウス(15一昨年から1年間、担い手支援事業の研修を受け、一昨年から1年間、担い手支援事業の研修を受け、 とともに、2重にビニールを張る内張り作業(写



10月10日朝、 斉に定植作業。

A. Q A Q

A. Q.

わかってきました。業の大変さ、奥の河

の先輩たちが教えてくれるので、ったけど、研修期間お世話にったけど、研修期間お世話にったけど、研修期間お世話にったりと、研修期間お世話に 独立してみてよかったと思うこと特になかったです。 自分の段取りで動けること。は?



すねました!」



「手間がえ」による植付け作業後のひと時は、また格別な 時間。この後、朝8時半過ぎには各自の農作業に戻った。





植え付けた苗の株元にたっぷりの水かけ作業。